

令和4年度子ども大学ふじみ野 実績報告書



子ども大学ふじみ野実行委員会

(文京学院大学・東入間青年会議所・ふじみ野市)

目 次

第1	開催概要	1P
第2	写真	3P
第3	参加者の声	6P
第4	保護者の声	23P
第5	子ども大学ふじみ野実行委員会名簿	30P

【第1 開催概要】

1 開催の趣旨

多様化している現代社会において、「共生社会」の理解と課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけを作るために、小学4年生から6年生までを対象に実施しました。

2 総合テーマ

共に生きる社会の理解

3 令和4年度テーマ

「学校では学べないSDGs 最前線!!」

4 分野

- (1) ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」
- (2) 地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」
- (3) 自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

5 日時・会場

[第1日目] 日時：令和4年9月24日（土） 13時～14時45分
（13時～13時10分の間で入学式を実施）

会場：文京学院大学ふじみ野キャンパス

[第2日目] 日時：令和4年10月23日（日） 13時～14時30分

会場：イオンタウンふじみ野

[第3日目] 日時：令和4年11月26日（土） 13時～15時30分
（15時～15時30分の間で修了式を実施）

会場：文京学院大学ふじみ野キャンパス

6 開催方法

対面形式での実施

7 実施内容

[第1日目]

○入学式

1. 開式のことは 子ども大学ふじみ野実行委員長 木村 学
2. 開校のあいさつ 子ども大学ふじみ野副学長 椋島 香代
3. 実行委員会の紹介
4. 参加者の自己紹介
5. 閉式のことは 子ども大学ふじみ野実行委員長 木村 学

○講義1【はてな学】【生き方学】

SDGs ってなーに？

講師：文京学院大学 人間学部 木村 学 先生

○講義2【はてな学】

銀行とSDGs～お金について学ぼう！～

講師：株式会社埼玉りそな銀行上福岡支店の皆さん

[第2日目]

○講義3【はてな学】【ふるさと学】

SDGs を探せ！～イオンタウンふじみ野を舞台に暗号を解読せよ～

講師：イオンタウンふじみ野の皆さん

[第3日目]

○講義4【生き方】

防災とSDGs～もしものときにできること～

講師：防災士 田中 緑 先生

○修了式

- | | | |
|-----------|----------------|------|
| 1. 開式のことば | 子ども大学ふじみ野実行委員長 | 木村 学 |
| 2. 修了証書授与 | 子ども大学ふじみ野学長 | 高畑 博 |
| 3. 学長式辞 | 子ども大学ふじみ野学長 | 高畑 博 |
| 4. 写真撮影 | | |
| 5. 閉式のことば | 子ども大学ふじみ野実行委員長 | 木村 学 |

8 参加者数

21人

9 参加費

1人当たり 500円（入学から修了までの参加費）

10 主催

子ども大学ふじみ野実行委員会（文京学院大学・東入間青年会議所・ふじみ野市）
名簿を30ページに掲載

11 協力

株式会社埼玉りそな銀行上福岡支店
イオンタウンふじみ野

【第2 写真】

○入学式【開式のことば(委員長)】



【開校のあいさつ(副学長)】



○講義1



○講義2



○講義3



○講義4



○修了式【開式のことば（委員長）】



【修了証書授与(感想発表)】



【学長式辞】



【写真撮影】



【第3 参加者の声】

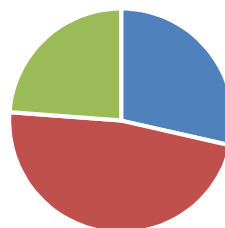
第1日目（講義1）

【はてな学】【生き方学】SDGs ってなーに？

講師：文京学院大学 人間学部 木村 学 先生

① 学年を教えてください。

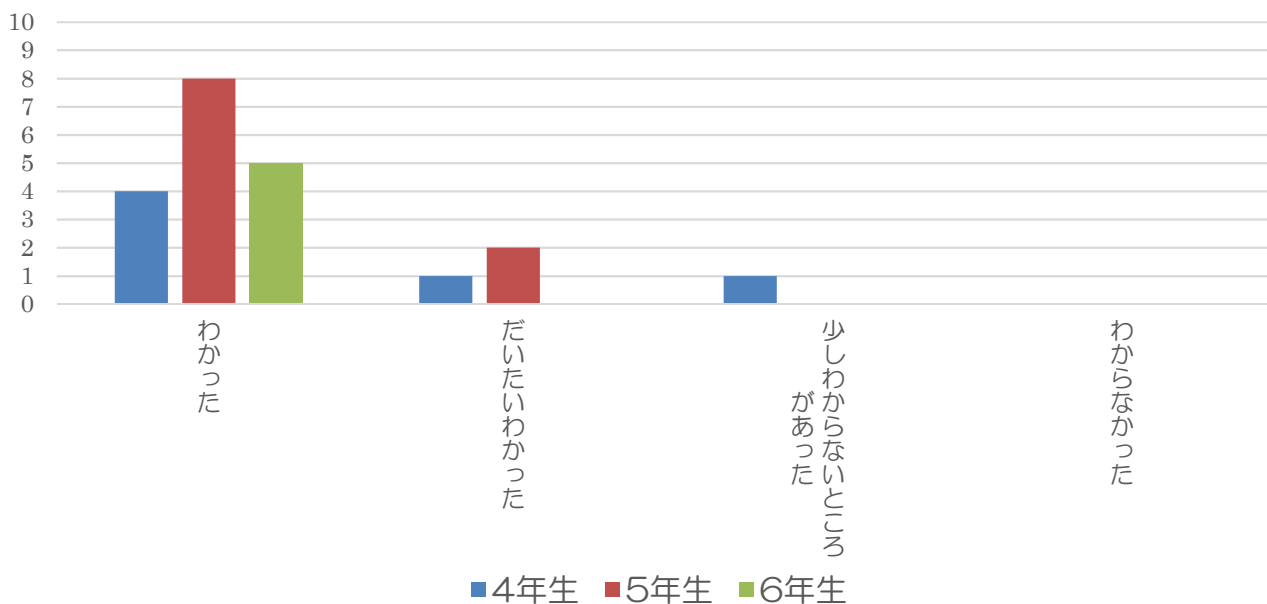
学年	人数
4年生	6人
5年生	10人
6年生	5人
合計	21人



■4年生 ■5年生 ■6年生

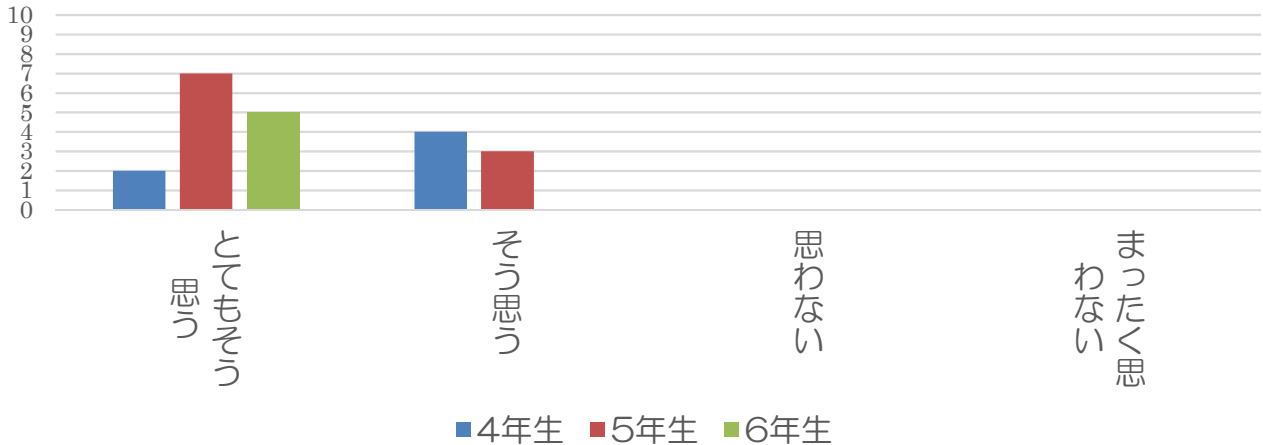
② 講義は理解できましたか？

	わかった	だいたいわかった	少しわからないところがあった	わからなかった
4年生	4	1	1	0
5年生	8	2	0	0
6年生	5	0	0	0
合計	17	3	1	0



③ 講義は楽しかったですか？

	とてもそう思う	そう思う	思わない	まったく思わない
4年生	2	4	0	0
5年生	7	3	0	0
6年生	5	0	0	0
合計	14	7	0	0



④ 講義で心に残ったことはなんですか？

- いろいろなところがあると知りました。(4年生)
- SDGsにむけて、いろいろな人が、がんばり、目ひょうを達成しようとしているんだなということが、一番心に残りました。私もがんばろうと思いました。(4年生)
- 0~2さいの子どもがいるところにトイレの壁がない理由がおもしろかったです。(4年生)
- SDGsについて学べてよかった。ゴミのはい出りょうがこんなに多いなんて思わなかった。(4年生)
- キャンパスツアーが楽しかった。(4年生)
- 先生のへやに本がいっぱいあった。(4年生)
- 2030年までの目標。(5年生他2人)
- 今のままの生活を続けずに、持続可能な社会にするために、SDGsの目標をたっせいしなければならぬことです。(5年生)
- SDGsはたいせつなことだと思い、たっせいしないといけないと思った(5年生)
- 見学。(5年生)
- SDGsのために、これからやらなければいけないこと。(5年生)
- SDGsは世界でとても大切にされているもくひょう。ぎんこうもSDGsに協力している。(5年生)
- SDGsで男の子が汚い川で売れるものを探している写真。(5年生)
- 持続可能な社会。(5年生)
- SDGsのこトです。(5年生)
- SDGsのおもしろいせつめい。(6年生)
- ぼくたちは知らぬ間にSDGsと関わっていたこと。(6年生)

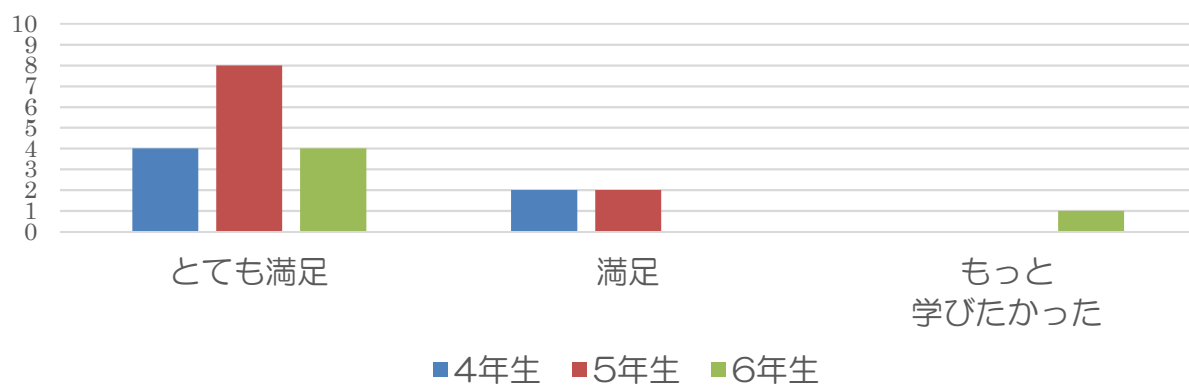
- 短時間でいろいろなことがわかった。いろいろまわっているうちにたのしくなった。(6年生)
- 地球おんだん化が進んで海面が上がっていることが分かった。(6年生)
- 学内を探けんしたこと。温だん化が原因でいろいろなことが起きているということが分かったこと。(6年生)

⑤ 講義の中でためになったことはなんですか？

- こども用のところもあると知って、いろんなことがあると思いました。(4年生)
- プラゴミは、すてずにリサイクルしたり、レジぶくろをあまり使わないようにしようと思いました。(4年生)
- これからは、にさんかたんそをあまりださないようにしたいです。(4年生)
- SDGs に向けて人々が協力していて、自分もできることはやりたいと思えるようになりました。(4年生)
- SDGs をまなべた。(4年生)
- SDGs は大学でもやっているとした。(4年生)
- 目標に向けて少しでもこうけんできたらいい。(5年生)
- 自分たちの生活をかえていくことで、持続可能な未来にできるということです。(5年生)
- これからの未来に大切なことが分かった。(5年生)
- 自分も SDGs に取り組んでいかないとだなと思いました。(5年生)
- SDGs について。(5年生)
- キャンパスの中にたくさんのしせつがあったこと。(5年生)
- ぎんこうも SDGs に力を入れていること。(5年生)
- 教授の部屋の中や、ようち園とつながっていたりすると分かったこと。(5年生)
- SDGs の大切さ。(5年生)
- 大人のためになると思いました(自分)。(5年生)
- 自由たんけんのせつめい。(6年生)
- SDGs を大切にしていくこと。(6年生)
- SDGs のことや、みんなのことがわかった。たのしく講義できてよかった。(6年生)
- 全て。(6年生)
- SDGs について知れて、これからどのようなことをすればよいのかということ。(6年生)

⑥ 講義は満足できましたか？

	とても満足	満足	もっと学びたかった
4年生	4	2	0
5年生	8	2	0
6年生	4	0	1
合計	16	4	1



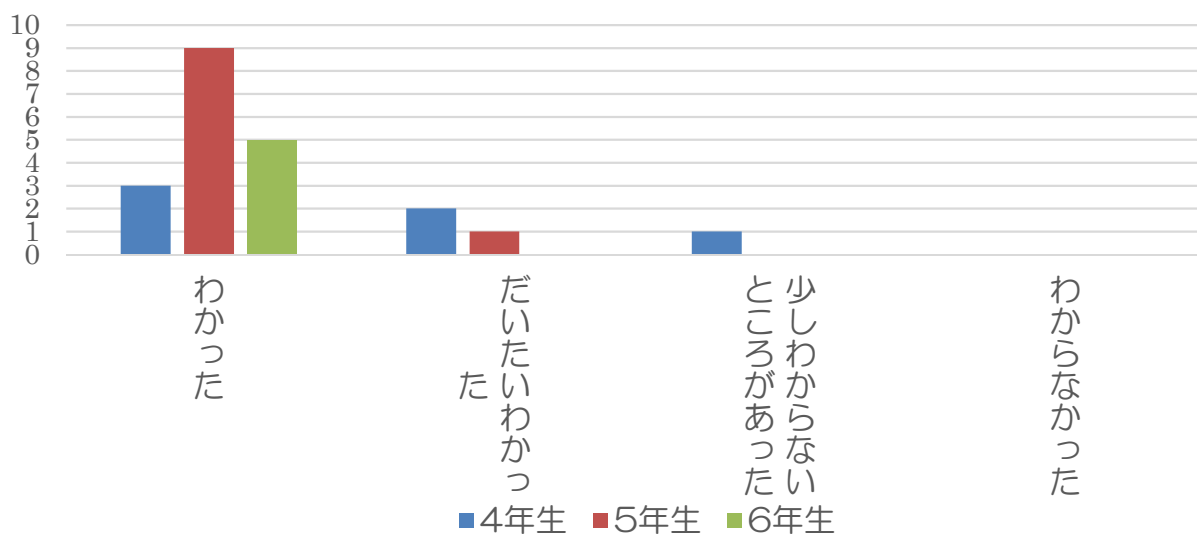
第1日目（講義2）

【はてな学】銀行とSDGs～お金について学ぼう！～

講師：埼玉りそな銀行上福岡支店の皆さん

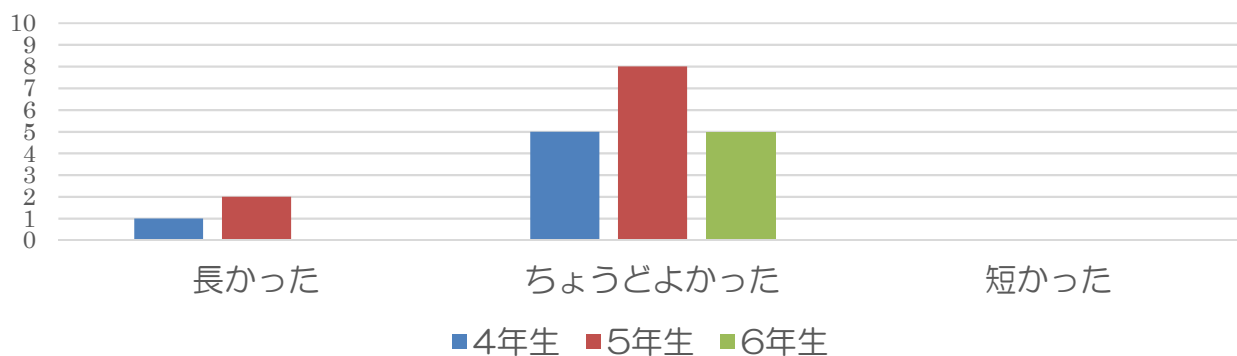
① 講義は理解できましたか？

	わかった	だいたいわかった	少しわからないところがあった	わからなかった
4年生	3	2	1	0
5年生	9	1	0	0
6年生	5	0	0	0
合計	17	3	1	0



② 講義の時間（45分間）はどうでしたか？

	長かった	ちょうどよかった	短かった
4年生	1	5	0
5年生	2	8	0
6年生	0	5	0
合計	3	18	0



③ 講義で心に残ったことはなんですか？

- ちきゅうおんだんかにならないために、にさんかたんそをへらすために、8000兆円かかると知ってびっくりしました。(4年生)
- お金がすごく大切だと、心にのこったことと、水がとてもきちょうということが、すごく心にのこりました。(4年生)
- クイズがたのしかったです。全問せいかいできてよかったです。(4年生)
- りそな銀行の人々が協力していることが伝わった。(4年生)
- ぎんこうのことをしれた。(4年生)
- りそな銀行でのSDGsのとりくみ。(4年生)
- 水が水道からのめる国が9カ国しかない。(5年生)
- 銀行でいろいろな取り組みをしているということ。(5年生)
- 東京ドーム100ぱい分もゴミを出していることにびっくりしました。(5年生)
- にさんかたんそをへらすにはすごくたくさんのお金が必要ということが分かりました。(5年生)
- クイズ。(5年生)
- ぎん行が行っているSDGsへとりくみ。(5年生)
- ぎんこうもSDGsに協力している。(5年生)
- 二酸化炭素を消すための金がくの話。(5年生)
- 人けん。(5年生)
- SDGsのことをあまりしらなかったのでした、たのしかったし、しっかりおぼえられました。(5年生)
- クイズでみんなと協力して答えをだすこと。(6年生)
- 安全に水を飲める国が9カ国と少なかったこと。(6年生)
- わかりやすくせつめいしてくれた。(6年生)
- 全て。(6年生)
- 銀行もSDGsについて関わりがあること。(6年生)

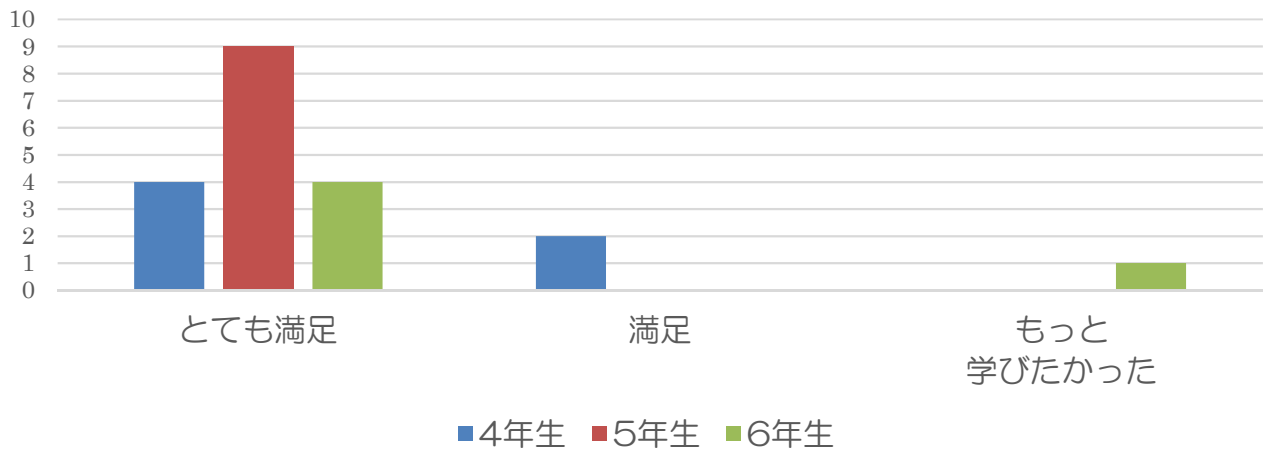
④ 講義の中でためになったことはなんですか？

- 水どうをそのままのめる国が9カ国と知って、水って大切だと思いました。(4年生)
- 水を大切に使おうと思いました。(4年生)
- これからは、にさんかたんそをあまりださないようにしたいです。(4年生)
- 銀行はなんのためにあるか、どんなことをしているかなどが分かりました。(4年生)
- SDGsをもっとしれた。(4年生)
- 3しゅるいのやりかたで、ちきゅうをささえているとわかった。(4年生)
- 水道水がのめるもきちょう。(5年生)
- お金のつかい方などを知ったこと。(5年生)
- りそなぎんこうが行っていることについて。(5年生)
- お金のつかいかたを気をつけようと思いました。(5年生)
- SDGsと銀行がむすびについていること。(5年生)
- お金とSDGsクイズ。(5年生)

- ぎんこうもSDGsに力を入れている。(5年生)
- 水道を自由に飲める国が少ない。(5年生)
- 思いやりが大切。(5年生)
- SDGsとお金について、自分が大人になったときのためになりました。(5年生)
- SDGsのことや銀こうがおこなっていることを学べた。(6年生)
- 銀行でのSDGsのとりくみを知った。銀行では、お金だけだと思っていたけど、ちがった。(6年生)
- 利子とかむずかしいことば。(6年生)
- 自分たちにできることについて、たくさん知れたこと。(6年生)

⑤ 講義は満足できましたか？

	とても満足	満足	もっと 学びたかった	無回答
4年生	4	2	0	0
5年生	9	0	0	1
6年生	4	0	1	0
合計	17	2	1	1



第2日目（講義3）

【はてな学】【ふるさと学】

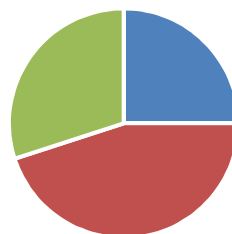
SDGs を探せ！～イオンタウンふじみ野を舞台に暗号を解読せよ～

講師：イオンタウンふじみ野の皆さま

① 学年を教えてください。

学年	人数
4年生	5人
5年生	9人
6年生	6人
合計	20人

※1人欠席

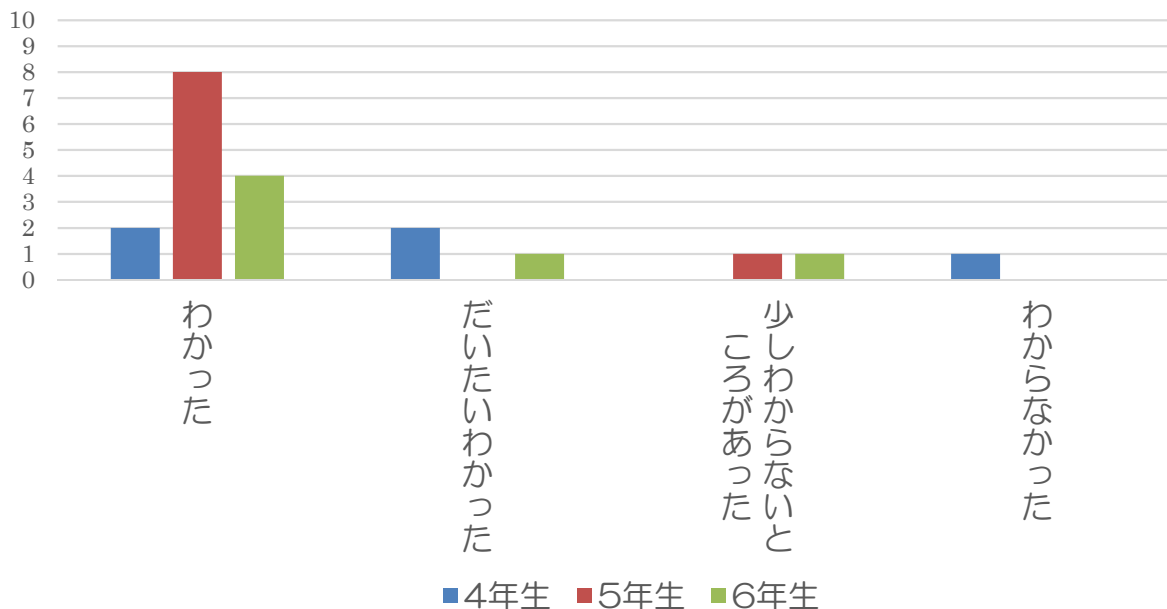


■4年生 ■5年生 ■6年生

※参加者が、学年を間違えて記入したことにより、6年生が1人多くなっています。

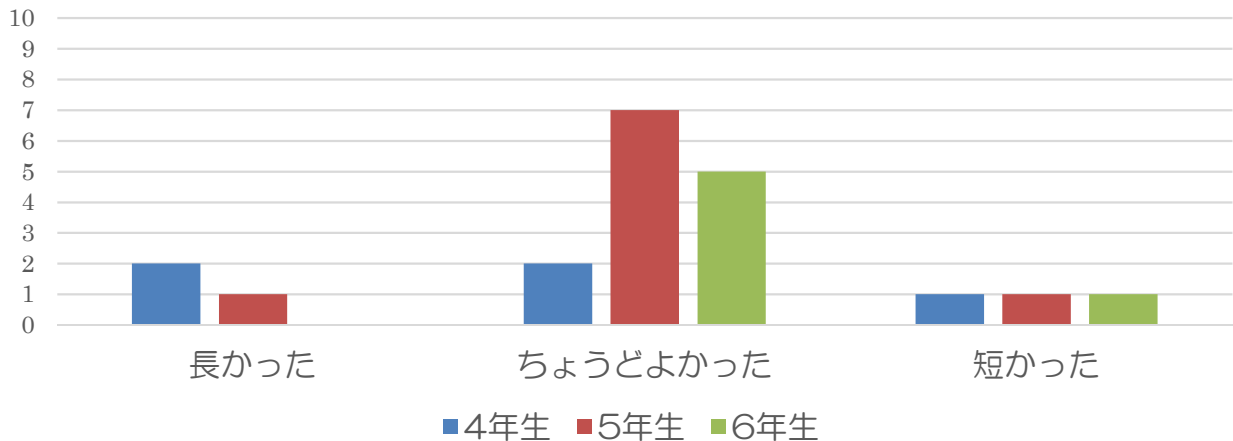
② ヒントカードの内容は理解できましたか？

	わかった	だいたいわかった	少しわからないところがあった	わからなかった
4年生	2	2	0	1
5年生	8	0	1	0
6年生	4	1	1	0
合計	14	3	2	1



③ 暗号カードを探す時間(50分間)はどうでしたか？

	長かった	ちょうどよかった	短かった
4年生	2	2	1
5年生	1	7	1
6年生	0	5	1
合計	3	14	3



④ 講義で心に残ったことはなんですか？

- よく行くイオンタウンで様々なSDGsがあってどんなことをしているかが分かった。(4年生)
- 2030年までにたっせいする17のこの目ひょうのために、リサイクルなどをしたいです。(4年生)
- イオンタウンにSDGsがあることをしれた。(4年生)
- なぜイオンタウンにしたのか。(4年生)
- イオンタウンやショッピングモールにも、身近な所にも、「SDGs」があると思っていなかったのび、びっくりしたし、さがして見るといっばいあったから、やってみよう!と思った。(4年生)
- 50分だと長すぎだと思ったこと。(5年生)
- 車いすの人のためにはいりよしたリモコンでそうさできる取り組みが、みんなのことを考えていていいと思いました。(5年生)
- コロナがでてきてから、イオンタウンをつくったから、30分に一度空気のいれかえがあるなど、かんせん対策をてっていしているということ。(5年生)
- 身近なことでSDGsがあるんだなと思ったこと。(5年生)
- ヒントカードがたのしかった。(5年生)
- SDGsの大切さ。(5年生)
- SDGsがショッピングモールにたくさんあった。SDGsを見つけるのが楽しかった。(5年生)
- 他のSDGsの取り組みも知りたいと思った。(5年生)
- 最後の金子さんの話。(5年生)

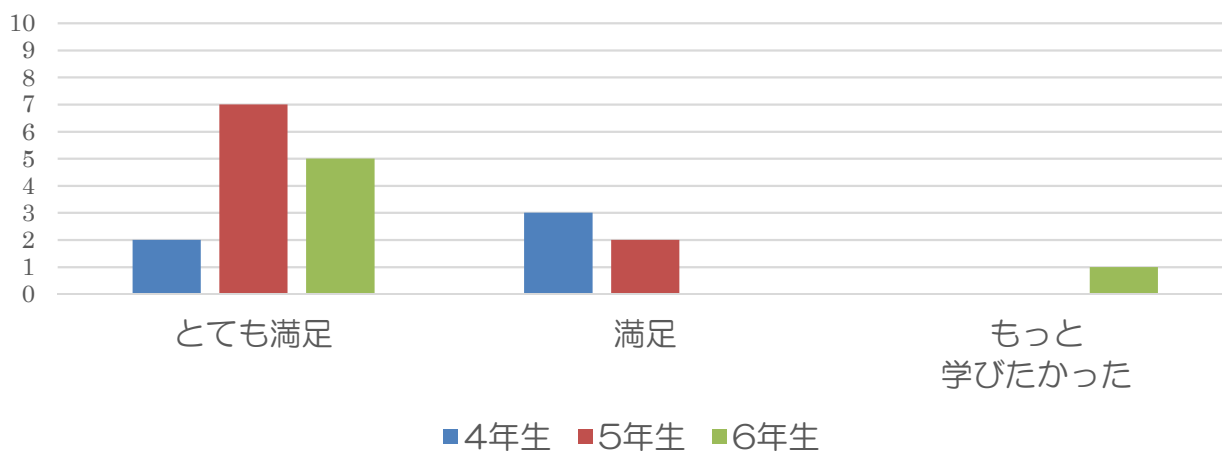
- SDGsは意外と身近だということ。(6年生)
- なぞときが楽しかった。(6年生)
- 身近な所にSDGsがあったこと。(6年生)
- イオンタウンのどこに行ってもSDGsがあるんだなとわかった。イオンタウン以外の店にもいろいろなSDGsがあると分かった。(6年生)
- SDGsについて分かった。(6年生)
- 金子さんのイオンタウンでのとりくみ。(6年生)

⑤ 講義の中でためになったことはなんですか？

- 身近な建物にも色々なたくさんのSDGsがあることを知りました。(4年生)
- SDGsのことをいっぱい知れたので、かんきょうによいものをえらぶようにしようと思います。(4年生)
- R1を知った。(4年生)
- ない。(4年生)
- SDGsが身近にあることが知れた。(4年生)
- いろいろなしせつでSDGsのとりくみをしていることをした。(5年生)
- みじかなところで、SDGsの取り組みを行っていること。(5年生)
- ショッピングモールなどは、地域、行政とのつながりができたり、つながる場所だとわかったこと。(5年生)
- SDGsのとりくみについて、しれたこと。(5年生)
- みじかにSDGsがあることがわかった。(5年生)
- 全て。(5年生)
- 自分たちでもかんたんにとりくめるSDGsがあったから、とりくんでみようと思った。(5年生)
- ショッピングモールで行っているSDGsの取り組みを知れた。(5年生)
- 暗号カードのSDGsのヒントに書いてあったこと。(5年生)
- SDGsの17の目標をたっ成するためには、みんなで協力することが大切。(6年生)
- なぞときのおかげでイオンタウンのSDGsの取り組みを知った。(6年生)
- SDGsのとりくみについて知れたこと。(6年生)
- イオンタウン以外にもSDGsはたくさんあるから、それを発見したいと思った。自分たちの身近にたくさんのSDGsがあるから、自分はそれを増やしたい。(6年生)
- SDGsが色々な所にあることが分かった。(6年生)
- SDGsのもんだいやイオンタウンのとりくみ。(6年生)

⑥ 講義は満足できましたか？

	とても満足	満足	もっと 学びたかった	無回答
4年生	2	3	0	0
5年生	7	2	0	0
6年生	5	0	1	0
合計	14	5	1	0



第3日目（講座4）

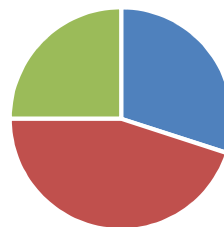
【生き方学】防災とSDGs～もしものときにできること～

講師：田中 緑 先生

① 学年を教えてください。

学年	人数
4年生	6人
5年生	9人
6年生	5人
合計	20人

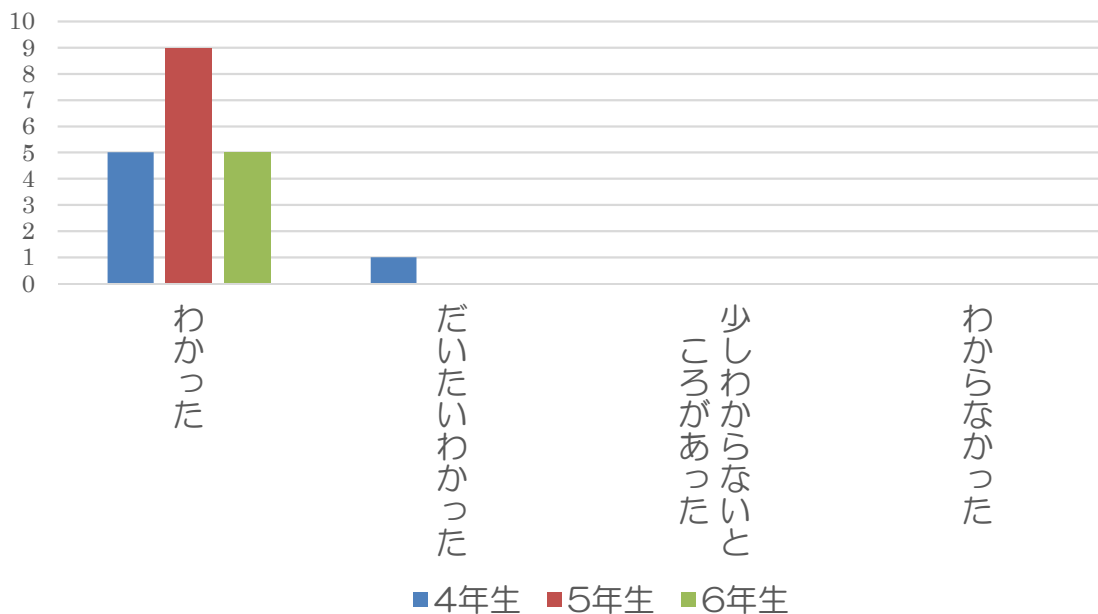
※1人欠席



■4年生 ■5年生 ■6年生

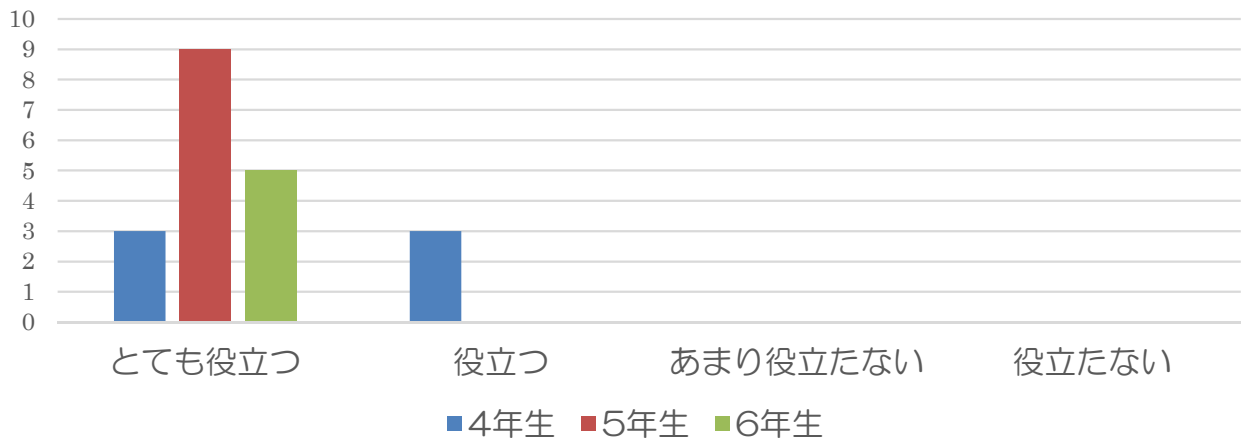
② 講義は理解できましたか？

	わかった	だいたいわかった	少しわからないところがあった	わからなかった
4年生	5	1	0	0
5年生	9	0	0	0
6年生	5	0	0	0
合計	19	1	0	0



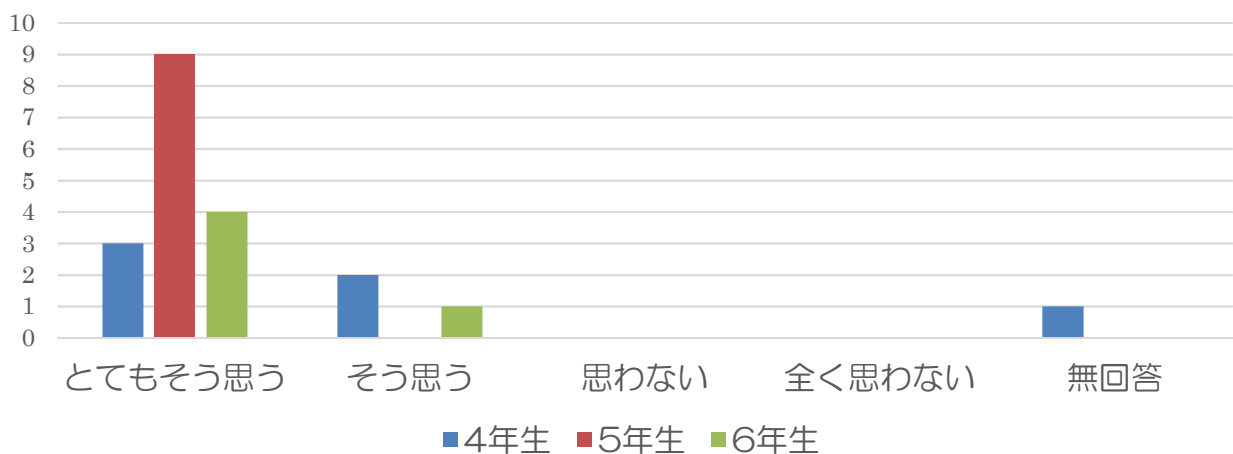
③ 講義の内容は災害の時に役立つと思われましたか？

	とても役立つ	役立つ	あまり役立たない	役立たない
4年生	3	3	0	0
5年生	9	0	0	0
6年生	5	0	0	0
合計	17	3	0	0



④ 講義は楽しかったですか？

	とてもそう思う	そう思う	思わない	全く思わない	無回答
4年生	3	2	0	0	1
5年生	9	0	0	0	0
6年生	4	1	0	0	0
合計	16	3	0	0	1



⑤ 講義で心に残ったことはなんですか？

- 2030年までにつくる。(4年生)
- 災害時に役立つことや、てんとう防止グッズなど、役立つ物や事があるという事。(4年生)
- じしんのときに、しがた金具をやろうと思いました。(4年生)
- とくにない気がします。(4年生)
- 地しんの時やきゅうじょをじっさいにやってみて分かりやすくじゅぎょうした。(4年生)
- 体けん。(4年生)
- よういしたほうがよい防災グッズが分かった。(5年生)
- 人と人とのつながりが大切だと思いました。(5年生)
- 人を運ぶ時は足から運ぶ。(5年生)
- じしんがあと何年以内におこるのか。(5年生)
- さいがいじに大切なことが心に残りました。(5年生)
- お米のボールペンが、にさんかたんそのはい出をふせぐことができているのがよかったと思います。(5年生)
- なぞなぞでぼくがべんきと答えたこと。(5年生)
- 世界の取り組んでいること。(5年生)
- 首都直下地震70%。(5年生)
- トップバッターでステージにたったこと。(6年生)
- 災害に対する対策法。(6年生)
- じっさいににんぎょうなどをつかってやってみたり、していさいがいがおこったときにやくだつと思った。(6年生)
- ケロ吉を運ぶこと。(6年生)
- ケロそうとケロ吉を使った実際にやってみるやつがおもしろかった。(6年生)

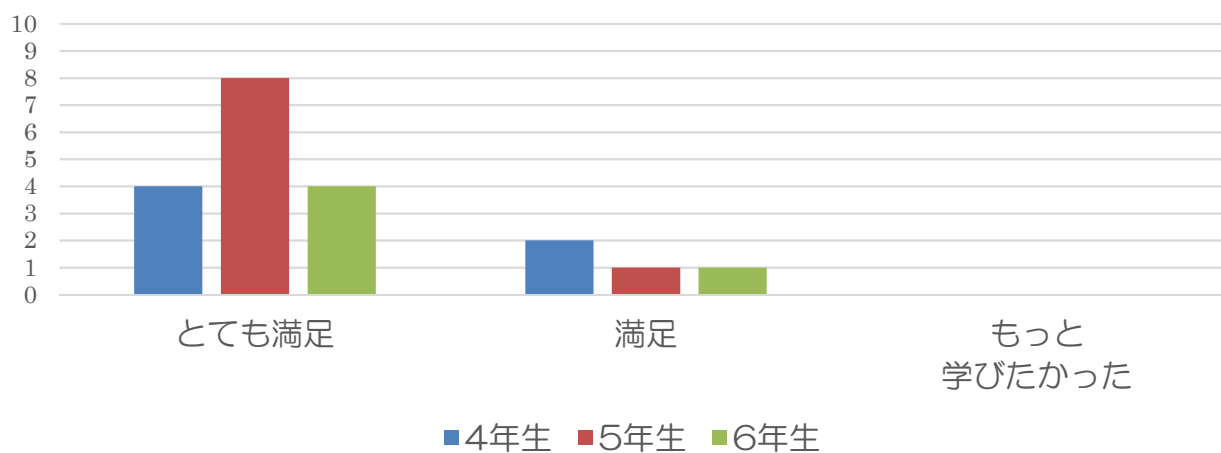
⑥ 講義の中でためになったことはなんですか？

- SDGsをたくさんどこにあるか学んだ。(4年生)
- てんとう防止グッズや、非じょう食など、きゅうじょの仕方など、を知れて、学べた。(4年生)
- じしんなどのときのためにいろいろとたいさくしようと思います。(4年生)
- とくにない気がします。(4年生)
- 自分の体は自分を守って防災グッズや地しんがおきたときなどのグッズを知ることができた。(4年生)
- ひなん方法、家具のとめ方。(4年生)
- えんぴつなどをさいごまで使いたいと思った。(5年生)
- じぶんの命やかんきょうのためにになった。(5年生)
- 人の運び方など。(5年生)
- 災害がおこったときにどうすればいいか。(5年生)
- そなえておいた方がいい防災グッズを知ることができました。(5年生)
- さまざまな家具をこていするものをしょうかいしていて、さまざまなやり方があるということに気づけました。(5年生)

- SDGsの色々なかんけい。(5年生)
- 全て。(5年生)
- 人のはこび方。(5年生)
- SDGsのこと。(6年生)
- 災害の時の備える物や事を学べた。(6年生)
- 災害がおこったときにひつようなアイテムやかぐのこてい。(6年生)
- 家具の固定。(6年生)
- 防災とSDGsがつながっていること。(6年生)

⑦ 講義は満足できましたか？

	とても満足	満足	もっと 学びたかった
4年生	4	2	0
5年生	8	1	0
6年生	4	1	0
合計	16	4	0



子ども大学ふじみ野3日間を通して

1 子ども大学ふじみ野に参加した感想を教えてください。

(3日間を通して心に残ったこと)

- いろいろ学べた。(4年生)
- 身近な所にかんきょう問題たいさくがあったことが知れた。(4年生)
- 楽しかった。それ以外はありません。(4年生)
- SDGsはいろいろなお店やしせつでおこなっていることを知りました。(4年生)
- 銀行や、イオンタウン、文京学院大学が、SDGsの取り組みをしていることが、すごいと思ったので、取り組もうと思いました。(4年生)
- SDGsを学べたし、新しい友だちもできました。(4年生)
- イオンタウンのSDGsがたくさんあっておどろいた。(5年生)
- SDGsの大切さや世界が取り組みをして世界を守っている。(5年生)
- 楽しかったので来年もやりたいとおもいました。(5年生)
- よりSDGsを身近にできたし、かんきょうにはいりよした取り組みをしていたということがわかりました。(5年生)
- 銀行がやっていることがたくさんあるということ。(5年生)
- SDGsをより深く知れた。(5年生)
- 最初はきんちょう気味だったけど、2日目からたのしく学ぶことができました。とても楽しかったです。災害の話が1番心に残りました。(5年生)
- SDGsについてしれたし、こういうきかいも大切だから、よかったです。(5年生)
- すごくSDGsのことが分かったし楽しかったです。(5年生)
- SDGsのことが身近に感じられた。SDGsと関係ないと思っていたイオンタウン、銀行、災害もSDGsとつながっていてびっくりした。(6年生)
- 全て楽しくできた。(6年生)
- SDGsをたのしく学べた。これから生活にやくだてたいです。(6年生)
- SDGsがくわしく、楽しく、たくさん学べた。(6年生)
- 先生たちもすごく楽しくしてくださって、とても楽しい3日間でした。(6年生)

2 子ども大学ふじみ野で学んだことを、今後どういかしていきたいですか？

- こうどうでいかす。(4年生)
- 自分もSDGs問題に協力する。(4年生)
- かんづめ(非常食)が家にたくさんあるけど、それをふつうに食べていたので、非常食をのこしていきたいです。(4年生)
- SDGsのことを知ったので少しやってみようと思いました。(4年生)
- 友達や家ぞくに教えて、自分も、日ごろから取り組もうと思いました。(4年生)
- まなんだことを、こうどうしたいです。(4年生)
- 分別などのかんたんなものからやっていきたいと思った。(5年生)
- 社会やこんごの生活にいかしていきたいです。(5年生)
- 災害が起きたときとかに、人を運んだりするのにいかしたいです。(5年生)
- 生活にいかしていきたい。(5年生)

- SDGs を実せんしたいです。(5年生)
- 生活にいかして、ちょっとしたことから、やっていきたいです。(5年生)
- SDGs をせっきょくてきに取りくみたいと思いました。(5年生)
- 自然を大事にしたり、自分も力になりたい。あまり二酸化炭素を出さない。(5年生)
- えんぴつをさいごまで使う。(5年生)
- クラスみんなに広めたり、SDGs のための取り組みをしていきたい！(6年生)
- 自分もSDGs などに取り組めるようにしたい。(6年生)
- SDGs をりかいして、どうこうどうしたらいいか考えて、それにあったこうどうをしたいです。(6年生)
- 二さん化たんそをへらしたい。(6年生)
- 自分ができるSDGs を見つけていきたい。(6年生)

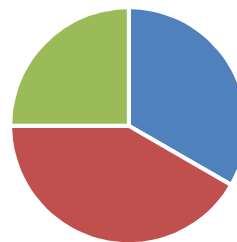
3 子ども大学ふじみ野で今後学びたいことはありますか？

- ガス、電気、水道(4年生)
- とくにありません。(4年生)
- とくにない気がします。(4年生)
- SDGs をよくしったので、いま学校でなっている「ふくし」を詳しく知りたいです。(4年生)
- SDGs をもっと知りたいです。(4年生)
- すいがいを学びたいです。(4年生)
- 天気のこと。(5年生)
- 17の目標の中の1つについてくわしく考えていきたいです。(5年生)
- 人間と宇宙について。(5年生)
- 地球など自然のこと。(5年生)
- 今せかいでおきている問題、こまっていること。(5年生)
- 環境について色々なしゅるいや色々な問題。なぞときのしかた。(5年生)
- 大学の講義を学んでみたいです。(5年生)
- おかねのしくみ、経ざい。(5年生)
- SDGs 以外のこともやりたい。(6年生)
- プログラミング(Scratch)。(6年生)
- 動物がくらすためには。みじかなきごうについて。(6年生)
- プールについて。(6年生)
- プログラミング。(6年生)

【第4 保護者の声】

1 お子様の学年をお聞かせください。

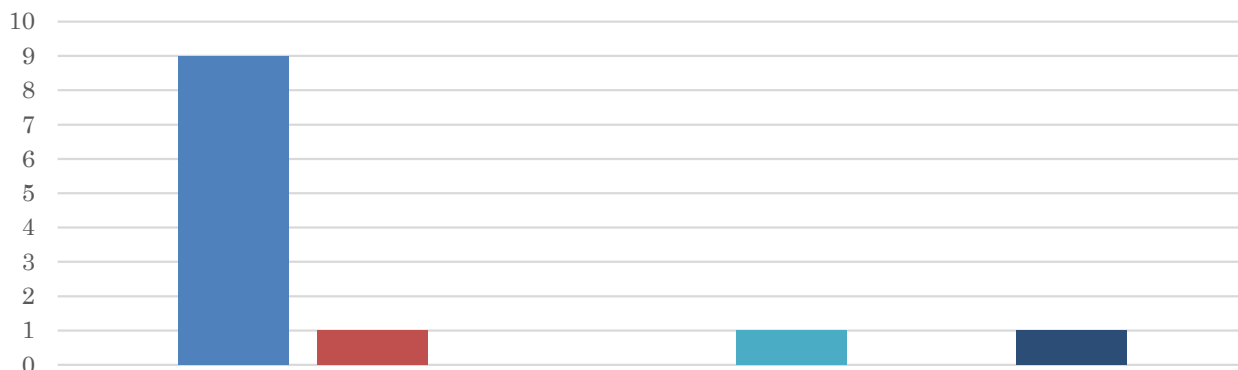
学年	回答者人数
4年生	4人
5年生	5人
6年生	3人
合計	12人



■ 4年生 ■ 5年生 ■ 6年生

2 子ども大学ふじみ野について、何をきっかけに知りましたか。

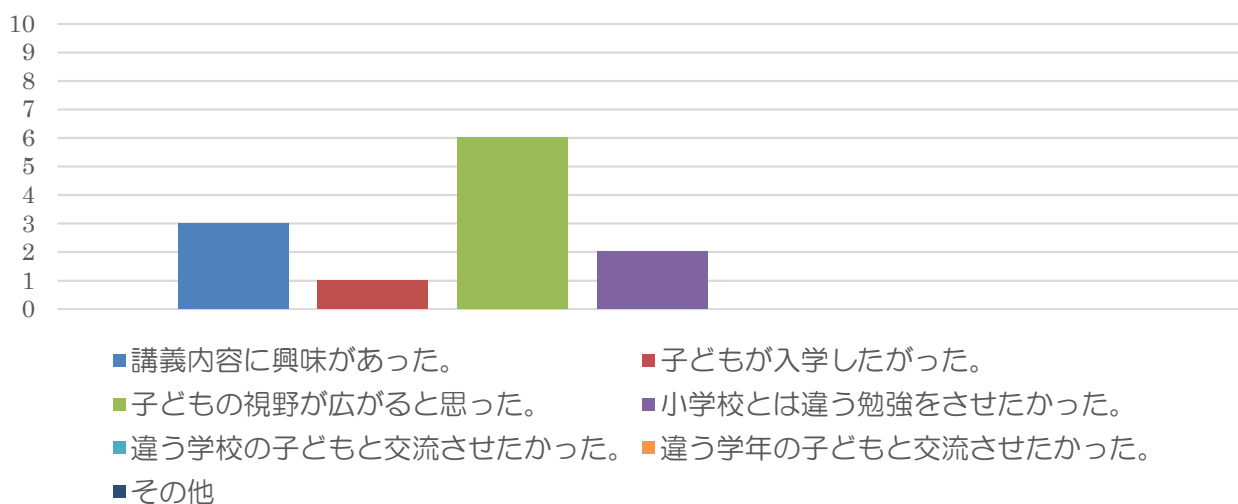
子ども大学ふじみ野のチラシ	9
ホームページ（ふじみ野市、文京学院大学）	1
デジタルサイネージ（イオンタウンふじみ野、ふじみ野市役所本庁舎内）	0
ふじみ野市のFacebook	0
ふじみ野市のFメール	1
ふじみ野市のLINE	0
その他（前年度の子ども大学ふじみ野に参加）	1



- 子ども大学ふじみ野のチラシ
- ホームページ（ふじみ野市、文京学院大学）
- デジタルサイネージ（イオンタウンふじみ野、ふじみ野市役所本庁舎内）
- ふじみ野市のFacebook
- ふじみ野市のFメール
- ふじみ野市のLINE
- その他（前年度の子ども大学ふじみ野に参加）

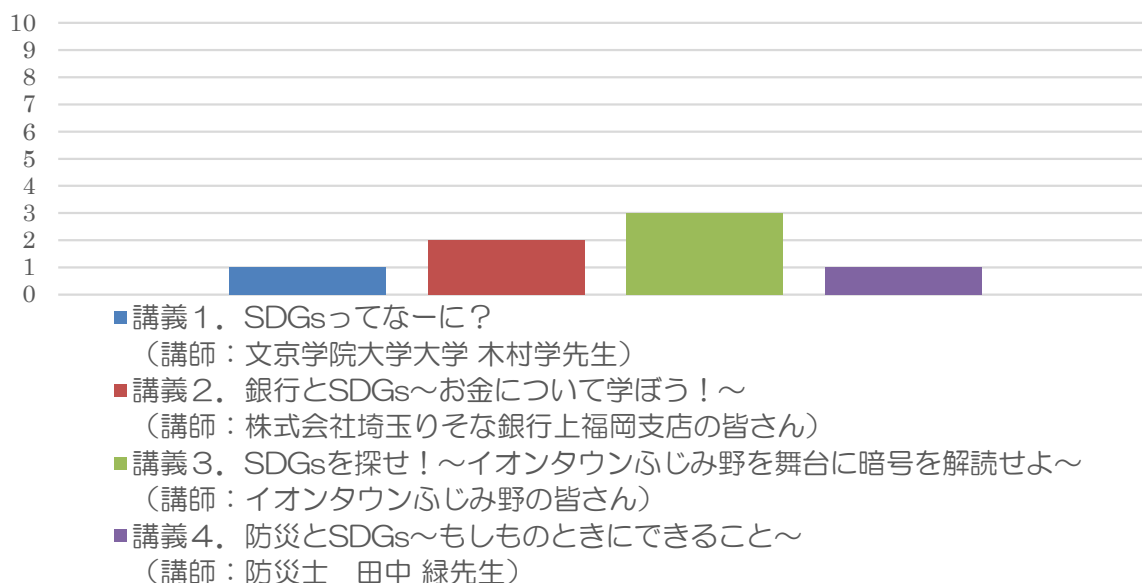
3 申込動機についてお聞かせください。

講義内容に興味があった。	3
子どもが入学したがった。	1
子どもの視野が広がると思った。	6
小学校とは違う勉強をさせたかった。	2
違う学校の子ともと交流させたかった。	0
違う学年の子ともと交流させたかった。	0
その他	0



3-1 「講義内容に興味があった。」とお答えの方へ 具体的に興味があった講義はなんですか。

講義1. SDGs ってなーに？ (講師：文京学院大学大学 木村学先生)	1
講義2. 銀行とSDGs～お金について学ぼう！～ (講師：株式会社埼玉りそな銀行上福岡支店の皆さん)	2
講義3. SDGs を探せ！～イオンタウンふじみ野を舞台に暗号を解読せよ～ (講師：イオンタウンふじみ野の皆さん)	3
講義4. 防災とSDGs～もしものときにできること～ (講師：防災士 田中 緑先生)	1



4 参加費(500円)についてお聞かせください。

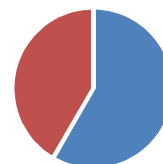
安いと感じた。	6
適切である。	6
高いと感じた。	0



- 安いと感じた。 ■ 適切である。
- 高いと感じた。

5 3日間という開催日数についてお聞かせください。

短いと感じた。	7
適切である。	5
長いと感じた。	0



- 短いと感じた。 ■ 適切である。
- 長いと感じた。

6 開催方法についてお聞かせください。

- 参加費の納入は電子マネーに対応してもらいたい。
- 納入方法はPayPay やクレカ決済も選べると嬉しいなと感じました。日数は5日くらいあるともっと学びが深くなると思いました。開催時期は、学校生活にも慣れて、休日に余裕も出てくる2学期が適切と思われます。
- 家計を気にして受講を見送るという選択肢はなくなる参加費設定で、大変ありがたいです。納入はPayPay やクレカ決済等が選べるとより嬉しいです。開催日数は間隔をつめて5回くらいあると、より深い学習に繋がれると思います。開催時期は学校生活が完全に慣れている2学期で適切かと思います。
- 今回の開催は、良い時期 時間 日数でした。納入方法は、振り込みとか開催初日に納入だと良いと思いました。

- 開催日数がもう少し多くてもいいと思いました。
- 開催日数はもう少し長いほうが講義の中身もより深くなり、メンバーとの交流もはかれると思う。それによる参加費の増額はかまわない。
- 500円、市役所、3日、秋。
- 行政が行うものなので500円という安さは適切だと思う。直接顔を見れるという点で納入方法も今回の形で良いと思う。土日にどちらか開けてくれると尚いい。開催時期は妥当だと思う。
- 確実に手続きをするという意味では良い方法だったと思います。
- 1つのテーマを子供達が参加する会としては適切な日数だったと思います。
- 長期休み中に、日にちをまとめて開催もよいとも思いました。
- 問題ないと思う。
- 土日が仕事のため、開催日数的にはちょうど良かったです。
- 適当だと思う。

7 子ども大学ふじみ野にお子様を参加させてみての感想をお聞かせください。

- 日常生活では得られない気づきを経験し、よい刺激になったと思います。地球を守る、大切にする意識が芽生えたと感じていますので、いまの気持ちを大切にしてほしいと思います。
- 他校の生徒と交流できる機会と思いましたが、子どもの話を聞く限りそれほど子ども同士交流はない様子でした。ディスカッションなどで、子ども同士の色々な価値観に触れられるとなお刺激になるのかなと感じました。
- 企画、運営、ありがとうございました。
- 兄弟参加の講義はなかなか珍しいもので、滅多にない機会を楽しく拝見させていただきました。予想外に積極的に講義を受けたり発表する次男の姿を見て、いいところを発見する機会にもなりました。本人の自信にもつながる経験をさせてあげられたのではないかと思います。一人一人の個性によって開花する場所は様々だと思うので、在籍学校以外でもそういうチャンスが掴める場所を用意して下さることはとても有意義なことですね。将来ふじみ野から著名人が出るかもしれないと想像するだけでワクワクします。すぐ芽が出ずとも必ず教育は経験値として本人に蓄積され、大人になってから花咲くこともあると思いますし、これからも子ども達の未来への投資として、今回のような魅力ある講座の展開などしていただけることを期待しております！もういい大人な親にも夢を感じさせていただける機会をありがとうございました。
- リアル開催ただけてよかったです。最終日の参観では子ども達が皆、好奇心旺盛で知らないことに対して前のめりで学ぶ姿が印象的でした。身近な題材を扱うことや、興味を惹きつける提示の仕方、子ども達の学習姿勢は全然変わって、それに伴う吸収量も全く違うレベルになると感じます。普段の学校教育の中でも、このような素晴らしい学習の場が展開されて続けることを願います。ご協力下さった方の人数の多さも今回の学ぶ環境に繋がったと考え、通常の学校授業も、少人数制だったり多くのサポーター導入をすることで、子どもたちの学習の質が上がるが見込まれるのではないかと思います。修了式では素晴らしい会場までお手配いただき、それも含めて子ども達の良い経験になりました。事務局、学生さん含め感謝しきりです。これからの成長の種を蒔いていただけましたので、日々発展させて行けるように親としてもサポートを頑張ってまいります。
- 実際に経験して良い体験になったのでは?と。修了式の壇上に上がる経験も良かったと思いました。
- SDGs について専門家の先生方を招き講義や実践授業などを行ったり、同じふじみ野市の同学年の関わりなどなかなか普段出来ない経験をする機会が持てることができとてもよい時間を持てた事はよかったです。子供自身も授業などで SDGs に取り組んでいるのですが今回の講座は新鮮のようで話をしてくれていました。初めて頂いたお米のボールペンも書き味がよく家に帰り早速使っていました。今回参加できてよかったです。ありがとうございました。
- 内気な我が子が自分からやってみたいと申し出て参加しました。普段の学校生活では得られないような体験ができ、とても充実した勉強をさせていただきました。
- ふじみ野市に特化した、防災の勉強が出来て良かったです。
- イオンタウンや防災 SDGs のことをたくさん話してくれた。刺激になったと思う。知らない友達と取り組むということもとてもいい経験だったと思う。

- 学校でも「SDGs」とは…と授業でやってきた話を聞いてはいましたが…子供達にはまだ難しい話かなと感じていました。地球温暖化、エコを心がけましょう …暑いのは嫌だ、エアコンつけてよ。 同じ地球でも、お腹が空いても食べるものが無い人たちがいる …その国の人たちがもっとしっかりすればいいんじゃないの？ そんな考えの、自分の半径 1m の興味しかない子ですが、少しでも「気づく」事があればと思います。最近、ゴミの分別は少し気にしてくれるようになりました（笑）学校や家庭では経験出来ない講義をありがとうございました。
- 子供が楽しく行けていたようなので良かった。
- お友達となら参加すると言い一緒に申し込みしました。結果、子供にも興味を持てる内容で楽しんで参加できていたと思います。
- 子ども自身が SDGs に興味があり参加することになりました。学校では自分の興味のある項目についての調べ学習が主だったようで、【13 気候変動に具体的対策を】について学びを深めたようです。今回の子ども大学ふじみ野では、身の回りの身近で具体的な所にスポットをあてた内容だった為、子ども自身の発見も多かったようです。帰宅すると、覚えた内容を話してくれ、「知ってた??」と問う事も多かったです。初めて参加させていただきましたが、とても実りのある時間が過ごせ親子共に満足しています。来年中学生になりますが、また機会があればこの様なプログラムに参加したいと思っています。ありがとうございました。

8 今後、子ども大学ふじみ野で実施してほしい講義、学ばせたい内容などがあればお聞かせください。

- 経済や福祉、市政。
- お金の教育と性教育。これが日本の義務教育の過程の中でまだ不足していると思っています。家庭教育でうまく伝えられる家庭と困りごとに発展してしまう家庭がある中で、学校教育と本以外で、今回の講義のような設定された会で、頼れる場所があると良いと思っています。
- 地元企業さんや農家さんにご協力いただき、職業紹介や体験、そこから知識習得に繋がるような講座。10歳からのハローワーク的なもの。町ぐるみで子育て、教育に向かえるような起爆剤としての官民連携講座を設定される等で、子どもの教育へお力添えいただけると、子育て家庭としては非常に有難いです。中学に行ってもこういう講座があると嬉しいなと思っています。（もっと個人的なことをいうと、シングル家庭な我が家では「教育」をハブとして子どもと接点を持ってくださる方が多いと、とても嬉しいです。）
- 焼き芋体験、是非やって欲しいと思いました。
- また興味のある内容があれば、参加したいと思います。ありがとうございました。
- 時事問題や自己肯定感についてなど。
- お金について。
- 環境問題、平和授業、日本の高齢化社会…どう受け止めてどう子どもたちが取り組んでいくか。過疎化が叫ばれている地域がある中で、魅力あるふじみ野市にするにはどうしたらいい

のか（ふじみ野市の現状を知りつつ）。子供たちに、大人が考えるようなことを問題意識を持つきっかけになるような講義を…。

- なぜ勉強しないといけないのか。
- 運動系 子供大学。
- スマホ、ゲーム、動画などとの付き合い方、使い方。
- 座学よりも体験型のほうが楽しそうにやっていたので、そういうほうがより良いのかなと思う。
- 『なぜ学ぶのか』『なぜ学校へ行くのか』子供が学校へ行くことを疑問に思ったことがあります。私も色々考えて話をしました。そういった事を、楽しく、分かりやすく講義していただけると良いと思います。
- 将来の仕事について、友人関係について、防災について等。

【第5 子ども大学ふじみ野実行委員会名簿】

役職名	氏名	所属団体名	摘要
委員長	木村 学	文京学院大学	人間学部 准教授
副委員長	上杉 孝哉	東入間青年会議所	
監事	木村 浩則	文京学院大学	人間学部 教授
監事	瀧本 貴子	文京学院大学	社会連携推進室室長
会計	東城 裕也	ふじみ野市	

事務局（ふじみ野市 市民活動推進部）

課 名	役職名	氏名
協働推進課	課 長	村田 頼信
協働推進課	生きがい推進係長	相馬 悠紀
協働推進課	生きがい推進係	東城 裕也

編集・発行

子ども大学ふじみ野実行委員会 事務局
(協働推進課生きがい推進係内)

〒356-8501

埼玉県ふじみ野市福岡一丁目1番1号

電話番号 049-262-8123 (直通)

FAX 049-266-1227

電子メール ikigaisuishin@city.fujimino.saitama.jp